

種別: 成年男子



大会名 第61回国民体育大会 ソフトボール競技

試合番号: 5



試合日	平成18年10月1日	第 1 日目	第一試合	1 回戦	会場・球場	相生スポーツセンター (B)	
開始時間	11時00分	終了時間	13時22分	中断時間	0時00分	試合時間	2時間22分
(球審)	本郷 忠彦	(一塁塁審)	古沢 公一	(二塁塁審)	尾崎 一則	(三塁塁審)	後藤 正久
(副審1)	米田 照美	(公式記録員)	今津 義久	(主任記録員)	松村 晴美	(放送員1)	岡本真理子
(副審2)		(パソコン記録員)	田中 秀樹	(補助記録員)	南 富美代	(放送員2)	

チ ム 名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計	安打	失策
熊本県	1	0	0	2	0	1	1								5	9	1
群馬県	2	2	0	0	2	0	x								6	10	0

チ ム 名	投 手	捕 手
熊本県	[] 浜口 辰也	松本 敬介
群馬県	[] 小田澤直紀	小池 誠

チ ム 名	(本 塁 打)	(三 塁 打)	(二 塁 打)
熊本県	田端 孝夫 浜口 辰也 石橋 光雄		西釜 輝
群馬県	青山 紀彦 高井 純		

(戦評) 群馬県1点差を守り切って準々決勝進出!

群馬県は、初回青山、2回高井の2点本塁打で計4点を挙げた。
5回にも、瀧本・白石・小田澤(直)の連打等で2点を加えた。投げては
小田澤投手が、走者を出しながらも要所を締めて、反撃を5点に抑えて
準々決勝進出を決めた。

一方、熊本県は、初回に先制し、4回には、田端・浜口の連続本塁打
7回には石橋の本塁打等で1点差まで追い上げたが届かなかった。
いずれもソロ本塁打だったのが悔やまれる。

副記録長	
記録主任	